

110

書第九七號

業 起
昭和十三年七月二十日

上申 昭和十三年七月二十八日
決定 昭和十三年七月二十八日
施行 昭和十三年七月二十八日

局長 桑原

書記官



30

三戸駅ヨリ五戸ニ本木七戸
三町ヲ経テ午戌駅ニ至ル 三戸午戌線速成ノ件

南部鉄道速成期成同盟會會長 小河正儀 外十九名

標記ノ件ニ関シ別紙ノ通り陳情之有候ニ付高覽ニ供シ候

裏面白紙

12.7.27
第 九 號

第九七號

三戸驛ヨリ、五戸、三本木、七戸
三町ヲ經テ千曳驛ニ至ル

三戸、千曳線速成陳情

三戸驛ヨリ五戸、三本木、七戸
三町ヲ經テ千曳驛ニ至ル

三戸、千曳線速成陳情

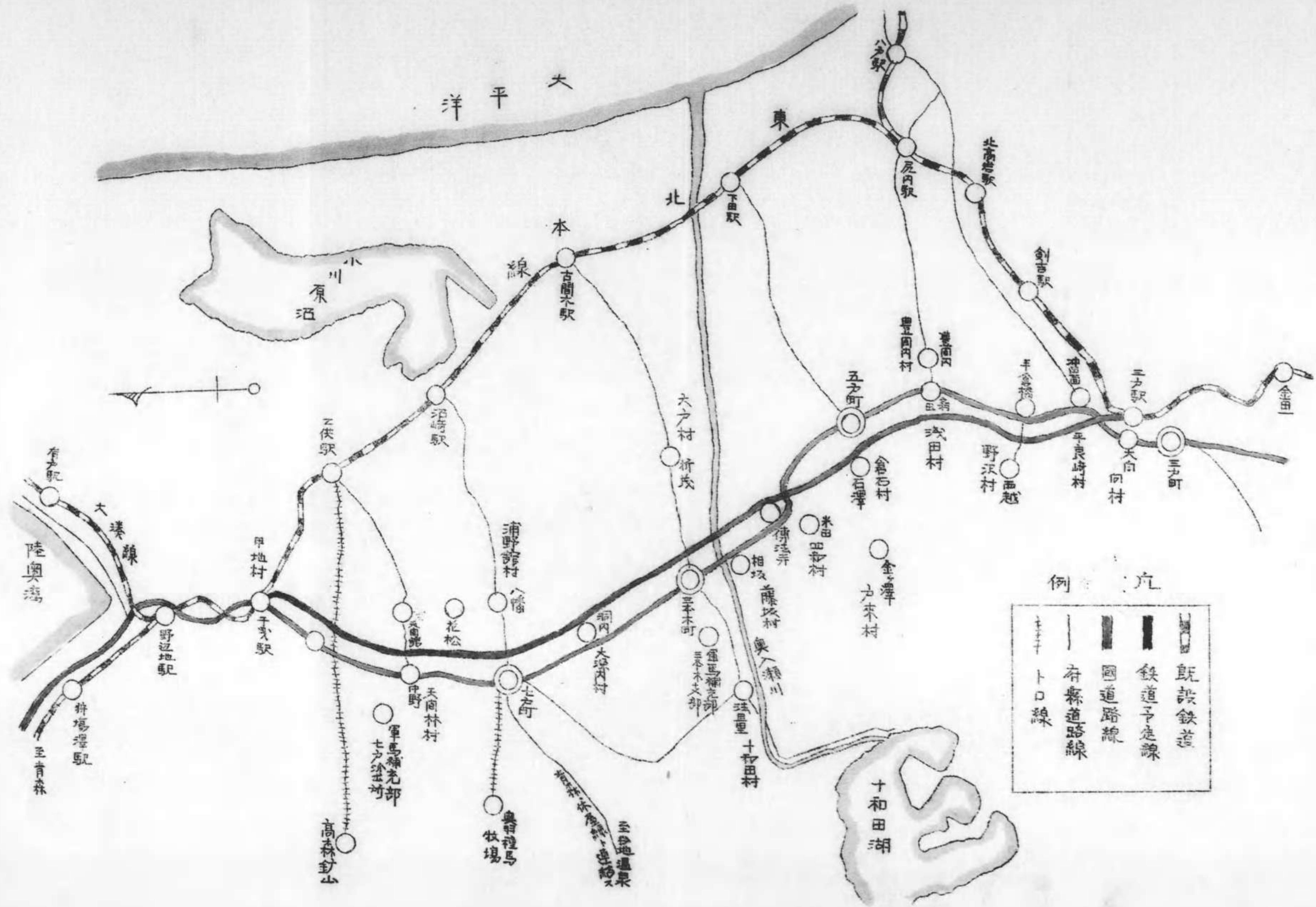
本線ハ昭和十二年六月下旬ヲ以テ鐵道省建設局ニ於テ經濟調査及基本測量ヲ終了シ其速成ヲ要スルハ左記理由ニ依リ明カナルノミナラズ東北振興上重大ナル意義ヲ有シ一日モ放置シ得サルモノト思惟セラル、次第ニ付是非昭和十三年度豫算ニ右建設費ノ一部ヲ計上セラシ、様格段ノ御明察御配慮ヲ賜ハリ度關係十八ヶ町村住民十五萬餘人ノ熱烈ナル希望ヲ代表シ不肖等茲ニ誠心誠意陳情スル次第ニ付何卒願意ヲ御採納セラレシコトヲ

理由

- 一、東北本線三戸驛ヨリ五戸、三本木、七戸三町ヲ經テ千曳驛ニ至ル國道沿線約三十八哩ハ十八ヶ町村ヨリ成リ人口十五萬餘東北本線ニ遠ザカルコト八哩乃至十五哩物資ノ集散及交通上不便不利尠カラズ。
- 二、本豫定線ハ既ニ鐵道豫定線ニ入りアリ約六哩ノ短縮ヲ見ル昭和四年社線ノ許可ヲ得タルモ着手セザル内ニ取消サレタル事實アリ。
- 三、三本木町ニハ軍馬補充部三本木支部、七戸町ニハ奥羽種馬牧場、獸疫調査所七戸支所、天間林村ニハ國有林斫伐事業ノ政府事業、五戸町ニハ農事試驗場分場、藤坂村ニハ孵化場、冷害防止試驗場、三本木町ニハ縣立農學校、高等女學校、七戸町ニハ縣立蠶業試驗場、種畜場及役馬利用指導者養成所、天間林村ニハ孵化場ノ縣事業其ノ他三戸、五戸、三本木、七戸ニハ各産牛馬組合アリ毎年ノ糶賣頭數壹萬頭ヲ降ラズ。
- 四、天間林村西側山地ニ無盡藏ノ高森鑛山、上北鑛山ノ硫化銅鐵鑛アリテ目下採掘ニ從事中ナルモ東北本線ニ遠ザカルコト約二十哩運搬上ノ不便不利甚大ナリ。
- 五、國道沿線地方ニハ約二萬五千町歩ノ既墾田畑ヲ有シ年々十數萬俵ノ穀類移出ヲ見ツ、アル外開墾適地約參萬町歩アリテ馬鈴薯其他ノ栽培ニ適スルヲ以テ今後無水アルコト製造原料ヲ供給シテ餘アルニ至ルベシ。
- 六、拾萬餘町歩ノ國有林ニハ目下繼續斫伐中ノ檜林及末ダ斧鉞ヲ入レザル雜木林無盡藏ニシテ木材工藝及バルブ原料ニ利用セバ其價值計リ知ルベカラズ
- 七、十和田國立公園ノ施設、十和田湖利用電力ノ開發ト相寄り相俟ツテ本線速成ノ必要愈々切ナリ。
- 八、冬期間四ヶ月降雪ニ妨ゲラレ省營バスハ不充分ナルノミナラズ豐富ナル物資ノ集散ト資源ノ開發進展上鐵道ノ敷設急務ナリトス

以上

昭和十二年七月



例 九

	既設鉄道
	鉄道予定線
	国道踏線
	府県道路線

裏面白紙



南部鐵道速成期成同盟會

會長 小河 正儀



三戸郡淺田村

幹事 中川原貞機



三戸郡三戸町長

幹事 松尾節三



上北郡三本木町長

幹事 川崎新兵衛



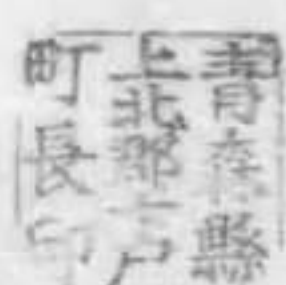
上北郡大深内村長

幹事 野邊地俊夫



上北郡七戸町長

幹事 戸舘康一郎



三戸郡向村長 谷内由松



三戸郡平良崎村長 馬場又彦



三戸郡野澤村長 佐藤忠雄



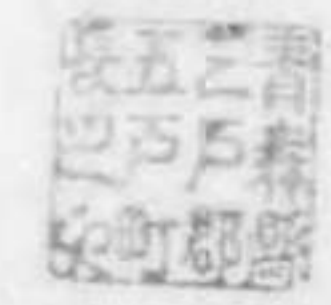
三戸郡淺田村長 中川原半三郎



三戸郡豊崎村長 白石利八



三戸郡五戸町長 三浦 種良



三戸郡倉石村長 小笠原 忠太郎



上北郡浦野館村長 阿部 留吉



上北郡四和村長 原田 武男



上北郡藤坂村長 苔米地 常助



上北郡十和田村長 深堀 善次郎



上北郡六戸村長 杉山 武夫



上北郡天間林村長 澤田 清見



上北郡甲地村長 向井 健治



内閣東北局長 桑原 幹根閣下

